



# 工事だより (2月号)



いつもお世話になります。緒方・土井建設工事共同企業体です。  
 今回は2月号として、1月の進捗状況と2月の作業内容を報告致します。  
 本工事の工期も残すとこ、あと1年半程になりました。  
 竣工に向けて、慌ただしく工事を行っています。  
 最後まで無事故・無怪我で頑張っております。

1. 工事名 阿蘇管内治山激甚災害対策特別緊急事業第21号工事 他合併
2. 工事場所 熊本県南阿蘇村大字立野字三ツ石

施工業者: 緒方・土井建設工事共同企業体  
 TEL 0967-65-8460

現場代理人兼監理技術者 里形 吉章 (緒方建設)  
 主任技術者 上田 健晴 (土井組)

発注者: 熊本県 県北広域本部 阿蘇地域振興局 農林部 山地災害対策課  
 TEL 0967-22-3649

## 1月の実施作業 法枠工(組立・吹付)・土留工(床掘・型枠組立・生コン打設)



## 今月(2月)の作業内容 法枠工(組立・吹付)・土留工(埋戻し)



【法枠組立】  
金網設置完了後、鉄筋及びフレームを組立てる

【法枠吹付】  
法枠組立完了後にセメント・水・砂をベースに練り混ぜホースで圧送し吹付ける。

## 節分の意味・由来

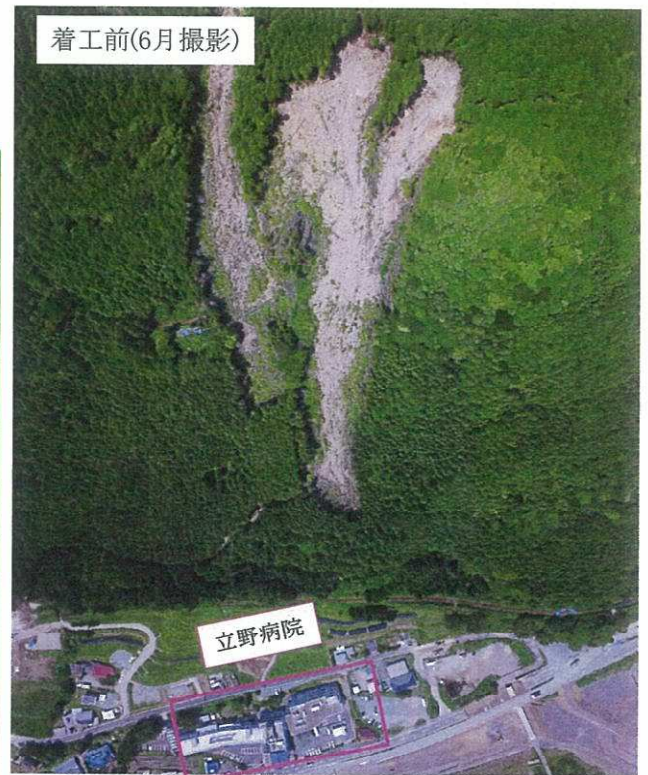
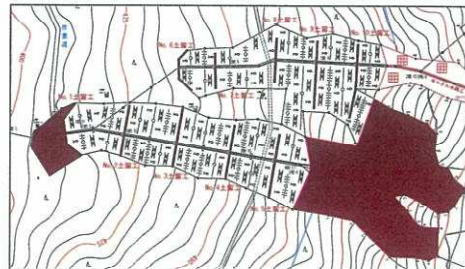
節分は、雑節の一つで各季節の始まりの日(立春・立夏・立秋・立冬)の前日のこと。節分とは「季節を分ける」ことも意味している。季節の変わり目には邪気(鬼)が生じると考えられており。それを追い払うために、古くから豆撒きの行事が行われてきた。豆は「穀物には生命力と魔除けの呪力が備わっている」という信仰、または語呂合わせで「魔日(豆・まめ)を鬼の目に投げつけて鬼を滅する「鬼滅」に通じ、鬼に豆をぶつけることにより、邪気を追い払い一年の無病息災を願うという意味合いがあります。豆を撒く際に「鬼は外・福は内」と掛声をかけるが地域や神社によって異なる場合があります。鬼を祭神または神の使いとしている神社、また方避けの神社では「鬼は外」ではなく「鬼も内」としている。節分会では役行者が鬼を改心させて弟子にした故事から「福は内、鬼も内」としている。また、鬼の字が姓に含まれる世帯もあることから掛声を「福は内、鬼も内」としている。

法枠吹付及び土留工(生コン打設)の施工が進み現場の風景が変わってきて、近隣の方をはじめ通行される方々には、こんな工事をされているんだと、わかって頂けると思います。

2月7日現在の進捗

法枠吹付 A=7,000㎡/9,281㎡

土留工(生コン打設完了) 6基/10基  
 (完了)No.5・No.6・No.7・No.8・No.9・No.10



着工前(6月撮影)

進捗状況(2月1日撮影)